

隊は訓練最盛期に突入!!



しぶきを上げ陣地変換をする99式自走155mmりゅう弾砲 (射撃中隊検閲)

平成28年度 第1回 隊集中訓練



(発行所)
11特OB会
(連絡先)
札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊
広報援護室
TEL (011)-581-3191
内線2645
(印刷)
札幌造型合同会社



主な記事

- 二面 隊創立8周年記念行事他
- 三面 課目指定演習・演習場定期整備他
- 四面 新隊員後期教育・昇任者等紹介他
- 五面 定年退官者紹介他・OB投稿記事
- 六面 広告記事・各連絡事項

隊は、平成28年6月10日から6月19日の間、北海道大演習場島松地区において平成28年度第1回隊集中訓練を実施した。

本訓練は、実射訓練、射撃中隊訓練検閲等を実施し、隊訓練検閲及び隊実射検閲の受閲準備に万全を期すことを目的に行った。

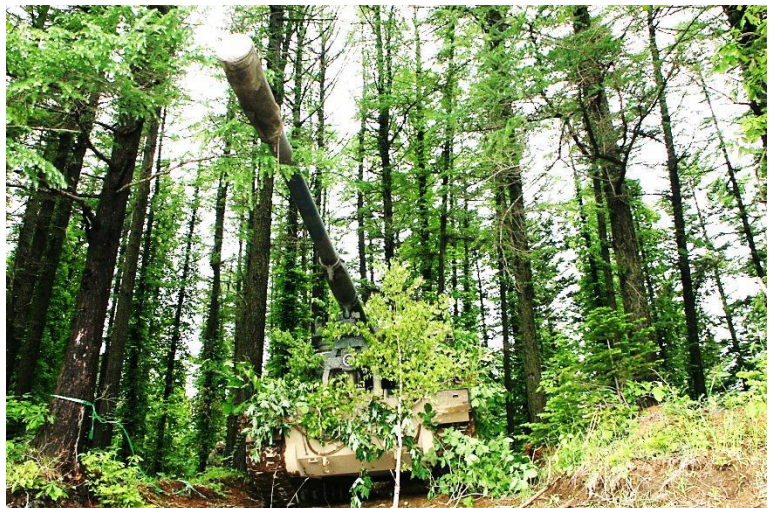
訓練は、指揮機関訓練に始まり、中隊練成訓練、徒步行進訓練、実射練成訓練と検閲に向け、重要な訓練を演練し、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を確認し、練度を向上させた。

特に、射撃中隊練成訓練及び訓練検閲では、陣地占領の要領において、健在性の保持として、現火砲が装備されているから隊として初の試みである頻繁な小移動などを取り入れ、認識の統一を図りつつ、訓練検閲を実施した。

また、実射練成訓練においても、実射検閲で前年度以上の高評価を獲得すべく、検閲課目における隊及び中隊の連携の強化、射撃の精度・速度の向上を図り、今後の訓練及び検閲の資となる成果を上げた。



降りしきる豪雨をものともせず、全隊員が20kmを完歩 (徒步行進訓練)



敵に発見されぬよう隠蔽する火砲 (射撃中隊検閲)



射手の精度・速度を究める実射練成訓練

特科隊創立8周年記念行事



借り物競争 (お題：お金持ちのザビエル)
手には札束が・・・ちょっと、お題がひどい??



瓶つり競争
慎重に急いで!? がんばれ~!!



運動会開会式

祝 第11特科隊創立8周年記念祝賀会会食



主催者挨拶 11特OB会長



祝宴風景



万歳三唱

祝賀会食は、主催者(11特OB会・会長黒田則幸氏)の挨拶に始まり、和やかにジンギスカンを囲みながら、隊の1年の活動状況を紹介するスライド上映や隊曹友会(会長前坂曹長)主催の大抽選会を行った。会食に参加されたOB会員からは、「懐かしい顔に会えて本当に楽しかった。皆が元気にしていることを確認できて良かった。」と喜んで頂いた。また大抽選会で景品を獲得した隊員は、「8月異動予定なのですが、最後にいい思い出が出来ました。ありがとうございます。」などの感想を述べ、大いに盛り上がった。行事は最優先上級曹長(杉山准尉)の万歳三唱で締め括り、盛会のうちに無事終了した。

青空の下 笑顔(´◡`)が溢れた!!

隊は、平成28年7月16日、真駒内駐屯地及び札幌市内部外施設において、各協力団体、OB会員及び隊員家族を招いて、隊創立8周年記念行事を実施した。

本行事は、各協力団体や隊員家族に特科隊の役割を幅広く広報し、隊に対する理解と協力態勢を確立するとともに、相互に親睦を深めることを目的として行った。

清々しい青空の下、隊グラウンドにおいて隊員家族も参加する恒例の運動会を実施し、各種競技で、笑いの絶えない楽しい時間を過ごした。その後、会場を市内部外施設に移し、各協力団体及びOB会員を含め祝賀会食を行った。

**ジンギスカンにビール：
今年も美味かった！**

第11旅団創立8周年記念行事



82式指揮通信車で行進する特科隊長



一糸乱れぬ行進を見せる
99式自走155mmりゅう弾砲

隊は、平成28年6月5日、真駒内駐屯地において第11旅団創立8周年記念及び駐屯地開庁62周年記念行事に参加した。

当日は晴天にも恵まれ、道内・外各地から約7200名が訪れ、盛大に記念行事が行われた。

観閲行進では、82式指揮通信車(CCV)に乘車した特科隊長を先頭に、一糸乱れぬ堂々とした行進を披露し、来場された来賓の方々や観客を魅了した。

山崎北部方面総監 初度視察訓示受け

隊は、平成28年7月26日、真駒内駐屯地総合グラウンドにおいて、山崎北部方面総監の初度視察訓示を受けた。

山崎総監は、駐屯地所在の部隊に対して、統率方針「任務完遂」を示され、要望事項「使命の自覚」「錬磨即応」「地域との連携」の3点を要望された。



訓示を述べる山崎北部方面総監

また初度視察において凛然とした姿に接し、心強く感じるとともに、使命感溢れる精強な部隊を隷下に持ち、共に勤務できると述べてくれた。



観測斥候訓練



交戦訓練装置 (バトラ) を使用して参加

平成28年度 課目指定演習 (HTC事前検証)

隊は、平成28年6月25日から7月10日までの間、矢白別演習場において旅団が実施した平成28年度課目指定演習 (HTC事前検証) に参加した。

本演習は、防衛における旅団司令部及び関係部隊との連携、迅速な計画の修正・実行及び情報と火力の密接な連携などを演練した。

この際、隊は初めて交戦訓練装置* (バトラ) を使用した訓練に参加し、実動対向演習の統裁・評価支援等の検証項目の成果収集に寄与した。

また併せて実施されたICE訓練では、幕僚活動能力の向上を図り、増強普通科部隊へ増強第1中隊 (5門編成) 及び火力調整者等を協同させ、戦技能力及び火力調整能力を向上させた。

その他、観測斥候訓練も行い、斥候要員の情報収集能力について演練し能力を向上させた。



情報と火力の連携に資する火力調整

*【交戦訓練装置 (バトラ) とは】レーザー光線を用い命中弾の判定、装備の破損や隊員の負傷状況等、様々な判定を瞬時に行う装置。

平成28年熊本地震 災害派遣



巨大な岩が行く手を阻む！
地日も早い被災の復興を、切に願う。

隊は、平成28年4月18日から5月5日の間、「平成28年熊本地震」において約3週間にわたる生活支援 (第3多目的支援中隊・長は本部管理中隊長左近3佐) 等の、災害派遣任務を完遂した。

災害派遣間 (移動を含む)、余震はもとより、荒れた天候、慣れない気温、普段見る事の無い壮絶な被災地など、心身ともに負担もある中、派遣隊員達は、被災された方の立場に立ち、きめ細やかな支援を心掛け、派遣任務は終えたが、一日も早い被災地の復興を、切に願う。

平成28年度 防災懇談会



装備品を体験 (人命救助システム)



個別懇談風景

隊は、平成28年6月7日、真駒内駐屯地において、平成28年度防災懇談会を実施した。

当初、会議等において各自治体担当者に対し、災害派遣に関する説明を行い、その後個別懇談により意見交換を実施して防災計画等について認識の共有を図った。

その後、隊グラウンドにおいて、装備品 (人命救助システム等) の展示説明を行い、大規模災害等で倒壊した家屋における不明者捜索から人命救助までの一連の流れを訓練展示し、特科隊の能力等について周知し、隊区内各市町村との協力態勢を確立した。



被災者の皆さん！食事ですよ！！



救援物資きっちり仕分けるぞ！！

春季演習場定期整備

隊は、平成28年5月10日から17日の間、北海道大演習場島松地区、弾着地域及び真駒内射場地区の春季定期整備を実施した。

本整備は、演習場機能を維持向上させ、長期安定利用を図る事を目的に行われた。

各中隊は、真駒内射場地区の射座や停弾堤の手入れ、側溝やその周辺の除草など普段使用する射場を丁寧に整備した。

また北海道大演習場島松地区及び弾着地域においても、担当地域を細部まで限なく実施した。



真駒内射場地区の整備 (本部管理中隊)

特に島松山道では、冬期の積雪、除雪の為に、道路境界及びため柵の表示杭が、破損又は欠損している等、ほぼすべての箇所を修理及び手入れし、訓練最盛期に向け整備を完了した。



弾着地清掃・野焼き (第1中隊地域)



島松山道ため柵整備 (第2中隊地域)



島松山道表示杭整備 (第3中隊地域)

平成28年度 新隊員特技課程及び 一般陸曹候補生課程後期

隊は、平成28年7月1日から9月9日までの間、真駒内駐屯地及び滝川駐屯地において平成28年度新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程後期を実施する。

本課程では、砲手等として必要な知識及び技能を修得させるとともに、野戦特科隊員として必要な資質を養い特技を取得させる。

また今年度からは、第11特科隊(真駒内駐屯地)で教育を実施する16名の他、新たに第10普通科連隊(滝川駐屯地)を母体に新編が計画される火力支援中隊に配属予定の隊員20名の教育も担任する。

開始式では、教育隊長(特科隊副隊長)が、「自律」・「互助」・「交流」の3点を要望され、最後に「修了式には36名全員が元氣澆刺逞しい野戦特科隊員に成長した姿を見せてくれることを大いに期待する。」と訓示した。



99式自走155mmりゅう弾砲区隊旗授与



120mm重迫撃砲区隊旗授与

航空機体験搭乗

隊は、平成28年5月21日、真駒内駐屯地において第11飛行隊の支援を受け、航空機体験搭乗を実施した。

当日は、雲一つない澄んだ春の陽気のもと約15分間の空中散歩を楽しんだ。搭乗された方からは、「天に昇る様な気分でした。」や「自分の家がミニチュアみたいに見え、とても晴らしい景色でした。」などの感想を頂き、航空機体験搭乗を無事終了した。



札幌市上空へ体験搭乗開始!



フライト前に個々に記念撮影

七月昇任者紹介

- 二等陸佐へ 井上 和久 (隊本部)
- 一等陸尉へ 畠山 和夫 (隊本部)
- 二等陸尉へ 大原 啓生 (第三中隊)
- 三等陸尉へ 野上 康夫 (本部管理中隊)
- 能登 直 (第一中隊)
- 城谷 文雄 (第三中隊)
- 陸曹長へ 小岩 徹 (本部管理中隊)
- 後藤 純 (本部管理中隊)
- 一等陸曹へ 有馬 卓也 (本部管理中隊)
- 川崎 智也 (本部管理中隊)
- 森崎 政喜 (第三中隊)
- 二等陸曹へ 笠原 知宏 (第二中隊)
- 福士 豊 (第三中隊)
- 三等陸曹へ 江原 しんご (第一中隊)
- 能代谷 太希 (第一中隊)
- 竹内 一步 (第二中隊)
- 岡本 拓磨 (第二中隊)
- 渡邊 大輔 (第三中隊)

転出者紹介

- 隊本部 三等陸佐 辻 徹
- 第五地对艦ミサイル連隊(健軍)へ 三等陸佐 的場 幸志郎
- 第六師団司令部(神町)へ 本部管理中隊
- 二等陸尉 鈴木 大輔
- 岩見沢駐屯地業務隊(岩見沢)へ 一等陸曹 澤村 明由
- 第二特科連隊(旭川)へ 一等陸曹 佐藤 万昭
- 第一二〇教育大隊(真駒内)へ 第一中隊
- 二等陸曹 山吹 匡
- 第十一旅団司令部付隊(真駒内)へ 第二中隊
- 二等陸曹 菊池 文夫
- 北部方面總監部付隊(札幌)へ

特科隊勤務
お疲れ様でした。
新任地での
ご活躍を
お祈りいたします。

御昇任
おめでとうございます。
ご報告いたします。

転入者紹介

隊本部

三等陸佐 赤澤 宏人
富士学校特科部(富士)より

本部管理中隊

陸曹長 浅野 学
特科教導隊(富士)より

陸曹長 内田 結城

第一二〇教育大隊(真駒内)より

一等陸曹 三浦 方靖

真駒内駐屯地業務隊(真駒内)より

三等陸曹 高橋 武男

特科教導隊(富士)より

三等陸曹 大平 卓

第一二〇教育大隊(真駒内)より

三等陸曹 五十嵐 亮

第六特科連隊(郡山)より

第一中隊

一等陸曹 大窪 浩司
東千歳駐屯地業務隊(東千歳)より

第二中隊

陸曹長 波形 勝行
対特殊武器衛生隊(朝霞)より

第三中隊

三等陸曹 高橋 努
第二特科連隊(旭川)より

三等陸曹 長谷川 健太
第六特科連隊(郡山)より

ようこそ特科隊へ。

これからよろしく

お願いいたします。

部内異動者紹介

隊本部へ

二等陸尉 神野 勝紀(第三中隊)
准陸尉 柴田 雄二(本部管理中隊)

本部管理中隊へ

三等陸尉 野上 康夫(第三中隊)

第二中隊へ

一等陸曹 桶谷 昭純(本部管理中隊)

第三中隊へ

三等陸尉 城谷 文雄(第二中隊)

引き続きよろしく

お願いいたします。

定年退官者紹介

陸曹長 杉岡義美
平成28年5月3日付
(札幌市)



永きに亘る北の防人
大変お疲れ様でした。
()内については、退職後の居住地

OBのメモ帳

九州から多くの隊員が北の守りに
(今から40年以上前の話)



石原昌則さん
元第11特科連隊情報中隊
平成25年12月退職

昭和51年6月下旬、前期教育を修了した若き新兵350名は九州中から大分は別府駐屯地に集結した。現在は市内を見下ろす高台にある別府駐屯地も、当時は街のど真ん中に位置する現在の別府公園の場所にあった。駐屯地内にある風呂なのに24時間入り放題の天然温泉そして温泉の街そのまま、駐屯地内あちらこちらから温泉の蒸気が上がっていたのを記憶している。せっかくなら日本屈指の温泉街だが観光もする事無く、翌日、北海道を目指し、まず東京へと350名の列車での大移動が開始された。満開の桜で迎えられ必死で頑張った前期教育隊の国分駐屯地を多くの同期に見送られ別府へ、初めて渡る関門海峡、なぜか不思議と東京までの道中の記憶が無いが沖繩出身の私には初めての列車の旅となった。6月下旬の東京は暑かった寝台列車に乗り換え更に北上する。見る景色がだんだん北の景色に変わって行くのが分かった。今でもあれは夢か幻か定かでは無いが、同じ季節、暑かった東京の景色とは違い夜の駅で電車を待つ乗客は、厚手のコートにマスク、吐く息が白い、東北とは言え現実だったのだろうか。そんな夢か幻を観ながら青森に到着、夜中の2時に寝台列車から津軽海峡を渡る為のフェリーに乗り換える。船の出港には決まって流れる「蜩の光」その音楽と共に「あくこれ故郷(沖繩)へは帰れないのか」と島送りにもなる気持ちで離れつつある陸地が名残り惜しく、見送る人もいない港に大きく手を振った。早朝函館に到着後、誰かの粋な計らいで半日の函館市内観光があった。数台の観光バスに乗り込み市内観光、車窓からの景色は低いビルと路面電車「今から行く札幌の真駒内駐屯地はもつと田舎なんだろな」と北島三郎の「函館の女」で有名な函館こそが、北海道の首都と勉強が好きでなかった事を裏づける勘違いで少し気を落とす。函館の観光地を数カ所巡りバスはいよいよハイライトの函館山に到着。6月下旬なのに寒かった、ぶるぶる震えながら見た函館山からの景色に又、啞然！函館山からの景色をご存知かと思うが、あのシュツと括れた地形が北海道の渡島半島の長万部から日本海側に横断する丁度あたりに思え「北海道は広い大きいと思っていたが意外と狭いなあ」とこれまた勘違い。ここで函館組と分かれ更に北上、同期に「どこに行く？」と聞くとやぐざから逃げて入隊したのに「わしゃ皆さんの映画に出た網走に行く」。彼の言う網走刑務所あたりに駐屯地は無い。函館本線は冷たそうな内浦湾を望みながら更に進む。初めて見る白くない砂浜に青くない海、なぜか津軽海峡冬景色の音楽が頭をよぎる。津軽海峡を渡ったのは夜中、外は暗かったしその頃の頃の景色を見るチャンスは無かったため、丁度良いと少し「あああ」と口ずさみ、いよいよ列車は内陸に入る。熊注意の看板や深い山や森に不安が増す中、列車は札幌駅に到着した。更に北上する先程の同期に「網走の駐屯地には行って網走刑務所には入るなよ」と別れの言葉を告げる。多分、彼は札幌に行ったのだろう。札幌駅から3/4tのキャリアに乗せられ真駒内駐屯地を目指す。固く締められた幌の紐が外情報を遮断する。その紐が風であおられやっと思えた外の景色は、今は無き真駒内本町の官舎群であった。(機会があれば後期教育に続く)

平成28年度自衛官等募集内容

- ・一般幹部候補生
資格:22歳以上26歳未満の者
- ・予備自衛官補一般
資格:18歳以上34歳未満の者
- ・自衛官候補生(男子)
資格:18歳以上27歳未満の者
受付期間:年中行っております。
試験日:受付時にお知らせします。

*** 受付期間、試験日等の詳しい内容につきましては、
「自衛官募集HP」をご覧ください。**

防衛省自衛隊札幌地方協力本部南部地区隊
〒005-0008 札幌市南区真駒内17番地
携帯 070-6591-0626 又は 090-3398-9522
広報官 米田博文(11特OB会 副代表幹事)

Webでも第11特科隊の 最新の活動状況がご覧いただけます！

まずは **11特** で検索!!

第11特科隊 ホームページアドレス

[Http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/11d/organization/images/tokka/index.html](http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/11d/organization/images/tokka/index.html)



OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更新手続きをお願いいたします。
手続きに関しては、「特科隊 広報・援護室」にて行っております。

電話〇一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 松山

二 叙位及び死亡叙勲に 関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になります。この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなりますので、万が一ご本人が亡くなられた場合には、死亡日を含め五日以内に最寄りの防衛省各機関、部隊等へ連絡することをご家族共々くれぐれもお忘れの無いようお願いいたします。

三 その他

特科隊舎一階には特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室がございます。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

【OB会事務局より】

本年度OB会発足30周年を迎えるに当たり、会員の皆様の中に過去の写真・資料等お持ちの方がおられましたら、ぜひOB会事務局までご連絡ください。

電話〇一一五八一―三一九一
(内線二六四六) 担当 森山